

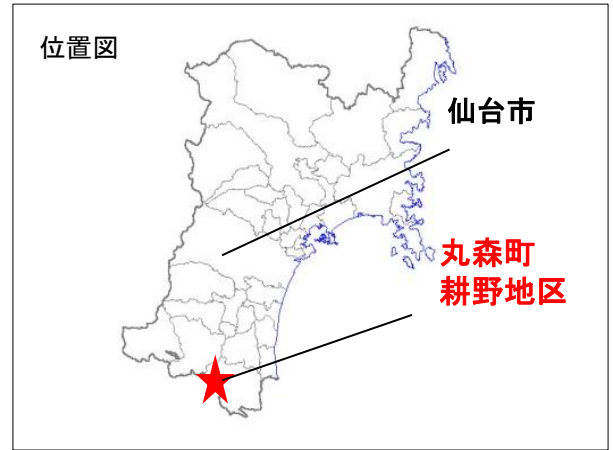
まるもりまち こうや  
**丸森町耕野地区**

**ころ柿づくりボランティアとの「意見交換会 & 交流会」を開催しました**

平成31年2月3日(日)、丸森町耕野地区で、ころ柿づくりボランティアの参加者との「意見交換会 & 交流会」が開催されました。

この交流会は、ボランティアに来ていただいた方々を招待し毎年開催しているもので、当日は、ボランティア参加者34人、受入れ農家16人が参加し、作業をした感想や楽しかったこと等の意見を出し合いました。また、昼食にはボランティアへのお礼も込めて、耕野地区のお母さん方が手作りした豚汁やお餅、ころ柿が参加者に振る舞われました。

位置図



耕野振興会会長から  
ボランティア参加者の皆さんに御礼



意見交換会

参加者と受入れ農家が混ざり、4グループに分かれて  
援農に参加して(受入れて)良かったこと等を意見交換しました。



グループごとに  
発表も!



最後はみんなで  
記念撮影！

意見交換では、耕野地区の自然や、ころ柿づくりという貴重な体験ができることが良かったという声が多くでしたが、なかでも一番多かったのは、農家さんとの交流が楽しいという意見でした。

耕野地区は、受入れ農家と参加者との距離が近く、とても良い関係となっています。（参加者の中には、耕野地区に住みたくなったという人もいました！）

この活動を機に、丸森町耕野地区の人や農産物、自然に関心を持っていただき、また足を運んでいただければ幸いです。



**参加していただいた皆様、ありがとうございました。**

\*この活動は、宮城県の「農山村集落体制づくり支援事業」の一環として行っているものです。宮城県ではこれからも農村集落や中山間地域の持続的発展を支援して参ります。

「農山村集落体制づくり支援事業」とは

宮城県では、平成25年から平成28年までの4年間、中山間地域等の農作業を支援する「集落支援事業」として、大河原管内の七ヶ宿町干蒲、丸森町筆甫、丸森町耕野の3地区で援農ボランティア活動の支援を行ってきました。これまでの参加者は、4年間で延べ約600人となり、各地域では、この活動を通じて特産品の生産継続や、東日本大震災による風評被害の払拭に取り組んできました。

そして、平成29年度からは「農山村集落体制づくり支援事業」として支援対象を宮城県内全域に拡大し、中山間地域に限らず、農山村集落の活性化に向けて支援を行っています。